



2026 年 9 月 9 日

各 位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR 担当
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

クボタメガネ・テクノロジーと低用量アトロピン併用療法に関する 12 か月パイロット試験結果
を「Academy 2026 Anaheim」で発表

窪田製薬ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、以下「当社」）の連結子会社である Kubota Vision Inc.（所在地：アメリカ合衆国・ワシントン州シアトル、Director of the Board, Chairman, President, and CEO; 窪田良、以下「Kubota Vision」）は、クボタメガネ・テクノロジーを搭載したアイウェア型デバイス「Kubota Glass」と低用量アトロピンを併用した無作為化パイロット試験の 12 か月結果を、American Academy of Optometry の年次総会である「Academy 2026 Anaheim」において発表することをお知らせいたします。

同学会は、2026 年 9 月 30 日から 10 月 3 日まで、米国カリフォルニア州アナハイムの Anaheim Convention Center にて開催される予定です。

本ポスター発表の演題名は、「Twelve-Month Efficacy of Combination Low-Dose Atropine and an Illuminated Spectacle Device for Myopia: A Randomized Pilot Investigation」（和訳：近視に対する低用量アトロピンと光照射型眼鏡デバイスの併用療法の 12 か月有効性：ランダム化パイロット試験）であり、2026 年 10 月 1 日（木）午後 4 時 30 分から午後 6 時 30 分まで、Exhibit Hall にて開催される Thursday Evening Poster Session において発表される予定です。本研究の著者は、Brett O'Connor, OD, FAAO、Sally M. Dillehay, OD, EdD、K. Ashley Tuan, OD, PhD、および Ryo Kubota, MD, PhD です。

低用量アトロピンは、小児における近視進行抑制のための治療法の一つとして用いられていますが、その有効性については試験によって結果が異なり、近視進行の抑制効果が認められたとする報告と、認められなかったとする報告の双方があります※^{1, 2}。このため、異なる作用機序を有する治療法を組み合わせることにより、近視管理における新たな選択肢となる可能性が期待されています。

本ランダム化パイロット試験は、台湾・新竹市の中国医薬大学新竹附設医院（China Medical University Hsinchu Hospital）にて実施され、ベースライン時点で 0.025%～0.05%の低用量アトロピン療法を受けていた 7 歳から 12 歳の近視の小児 28 名を対象に、クボタメガネ・テクノロジーを搭載したアイウェア型デバイス「Kubota Glass」の評価を行いました。被験者は、2：1 の割合で無作為に、低用量アトロピン単独療法を継続する群、または既



存の低用量アトロピン療法に加えて「Kubota Glass」を1日2時間使用する群のいずれかに割り付けられました。

12 か月間にわたり、調節麻痺下等価球面度数、眼軸長、規定されたデバイス装用への遵守状況、および安全性について評価を行いました。本パイロット試験は、今後実施される、より大規模な併用療法に関するランダム化臨床試験の計画策定に資する情報を得ることを目的として設計されました。

12 か月時点における調節麻痺下等価球面度数のベースラインからの平均変化量は、併用療法群 (n=15) で -0.35 D、低用量アトロピン単独療法群 (n=8) で -0.63 D となり、その差は 0.28 D でした。また、眼軸長の平均伸長量は、それぞれ 0.25 mm および 0.28 mm で、その差は 0.03 mm でした。

さらに、6 か月時点で実施したアンケート (n=18) では、参加者の 94% が、近視の進行を抑制できるのであれば、本デバイスを使用する意思があると回答しました。

本件について、当社グループの代表取締役会長、社長兼最高経営責任者の窪田良（眼科医、医学博士）は次のようにコメントしています。

「本パイロット試験の 12 か月結果を『Academy 2026 Anaheim』において発表できることを嬉しく思います。クボタメガネ・テクノロジーは、近視管理のために開発された、プログラム可能な電子式眼鏡型照明プラットフォームです。この技術は、マイクロ LED と精密光学系を用いて、中央の視野をクリアに保ちつつ、周辺視野に特別に焦点を合わせた光を照射します。本ランダム化パイロット試験は、当該技術が低用量アトロピンと併用してどのように活用され得るかを理解するうえで重要な一歩であり、検眼および視覚科学分野の皆様と本研究を共有できることを楽しみにしています。」

なお、本件による当社連結業績への影響はございません。

※¹ Zadnik K, Schulman E, Flitcroft I, et al. Efficacy and Safety of 0.01% and 0.02% Atropine for the Treatment of Pediatric Myopia Progression Over 3 Years: A Randomized Clinical Trial. JAMA Ophthalmol. 2023 Jun 1:e232097. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC10236322/>

※² Repka MX, Weise KK, Chandler DL, et al. Low-Dose 0.01% Atropine Eye Drops vs Placebo for Myopia Control: A Randomized Clinical Trial . JAMA Ophthalmol. Published online July 13, 2023. <https://jamanetwork.com/journals/jamaophthalmology/article-abstract/2807117>